

平成22年7月28日

お得意様各位

株式会社 タテムラ  
システムサービス課  
福生市牛浜104

## System-V/LX 電子申告システム 更新プログラムの送付について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお取引を賜り誠にありがとうございます。

新法人税申告書システムの国税データ変換対応版「電子申告システム」が完成致しましたので、お届け致します。つきましては同封の資料をご覧頂いてからご使用頂きますようお願い申し上げます。

※前回7月23日付で送付の新法人税申告書システム等の更新をまだ行っていない場合は、先に前回の更新を行ってから今回分の作業をお願い致します。

尚、新法人税申告書システムの地方税電子申告対応につきましては、8月下旬を予定しております。もうしばらくお待ちいただきますようお願い致します。

今後とも倍旧のお引き立ての程、宜しくお願い申し上げます。

敬具

## 送付資料目次

※改正保守のご契約(未納含む)、及びご注文にもとづき以下の内容を同封しております。

### 送付プログラム

- ・ System-V/LX用 電子申告システム (国税電子申告用 環境設定を含む) CD-R 1枚
- ※サーバーが複数台ある場合でも共通で使用できます。

### 取扱説明書

- ・ CD-R内にPDFファイルとして入っています。

### 案内資料

- ・ 同封物の解説及びバージョン一覧表 . . . . . 1
- ・ [1000]プログラムの更新作業 . . . . . 2～3
- ・ 環境設定インストール方法～XP . . . . . 4～5
- ・ 環境設定インストール方法～Vista / 7 . . . . . 6～8
- ・ 電子申告システム更新内容 . . . . . 9～10
- ・ 取扱説明書の呼び出し方～PDFの開き方 . . . . . 11
- ・ 地方税ポータルシステム(eLTAX)更改に伴うサービスの一時停止について

## 送付内容のお問い合わせ先

送付内容に関するお問い合わせにつきましては、サービス課までご連絡下さいませようお願いします。尚、保守にご加入のお客様はフリーダイヤルをご利用下さい。

TEL 042-553-5311 (AM10:00～12:00 PM1:00～3:30)  
FAX 042-553-9901

以上

改正保守契約(未納含む)、又はご注文に合わせて以下のCD-Rを同封しています。



今回送付したCD-Rは

- ・電子申告関連システム更新
- ・国税環境設定
- ・PDFファイルの取扱説明書

を1枚に入れて送付しています。

No.	ラベル名	枚数	備考
1	System-V/LX 平成22年新法人税申告書プログラム 電子申告プログラム更新 電子申告環境設定・取扱説明書PDF	1	プログラムインストールCD-Rです。

## ●バージョン一覧

下記のプログラムは **F 9** (申告・個人・分析) 1 頁目、**F 10** (データ変換) 1 頁目に表示します。

PG番号	プログラム名	HD-VER	備考
880	電子申告	V-1.04	<u>[110]新法人税申告書システムで作成した国税データ</u> を変換して申告できるようになりました。 平成22年4月1日以後終了事業年度分に対応しております。 ※新法人税申告書システムで作成した地方税の変換・送信につきましては、8月下旬に対応版の更新を予定しております。
110	新法人税申告書	V-1.01	納付税額一覧表において、入力画面から印刷ができるよう機能改善致しました。

※ 前回7月23日に送付した新法人税申告書プログラムの転送作業をまだ行っていない場合は、前回の更新を行った後に今回送付のプログラム更新作業を行ってください。

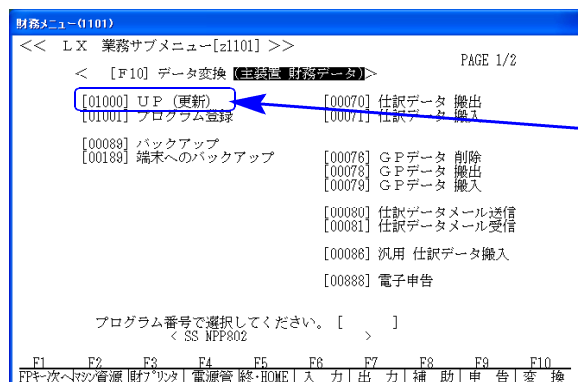
## ●バージョン確認後

環境設定のCD-Rは必ず保管して下さい。(機械が故障した際に使用します。)  
※今回より前に発送した環境設定CD-Rは破棄していただいて結構です。

※ 前回7月23日送付の新法人税申告書等の更新作業をまだ行っていない場合は、先に前回の更新を行った後、今回送付のプログラムを更新して下さい。

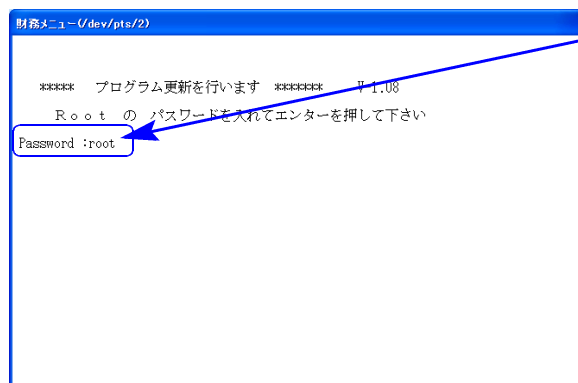
## ● 操作方法

- ① 「平成22年電子申告プログラム等更新～10.07.28」と書かれているCD-Rを用意します。
- ② **F10** データ変換のメニューを呼び出します。



初期メニューより **F10** データ変換を選択します。**[1000] UP (更新)**を呼び出します。

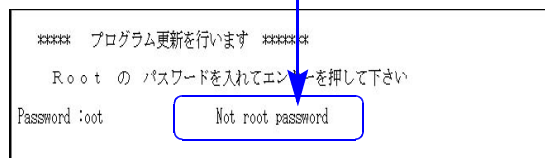
**1000** **Enter** を押します。



**Enter** を押します。  
(rootは入力しません)

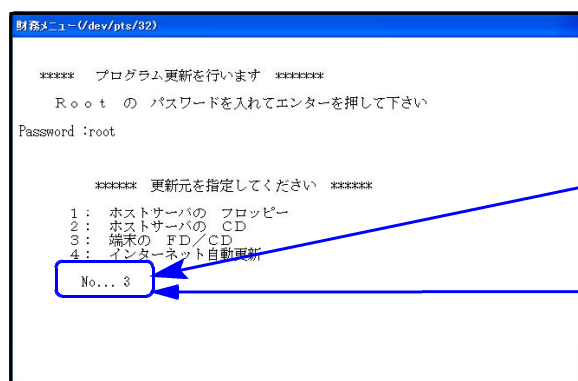
**r o o t** は消さないように注意して下さい。

※パスワードを消した場合エラーを表示します。



※ LX:2005年7月以前納品の機械 (LX-TURB010) は、2:ホストサーバのCDで作業して下さい。

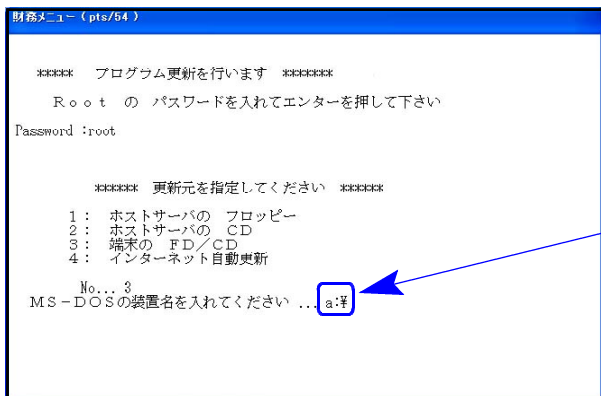
- ③ 下図の画面を表示します。



「平成22年 電子申告プログラム等更新～10.07.28」と書いてあるCD-Rをセットして『3』端末のFD/CDを選択します。

**3** **Enter** と押します。

※ 親機にCD-Rをセットした場合は  
**2** **Enter** を押します。  
→ ⑤へ移動



- ④ 『3』 端末の F D / C D を選択すると『MS-DOSの装置名を入れてください..a:¥』と表示しますので、CD-ROMのドライブ名を入力します。

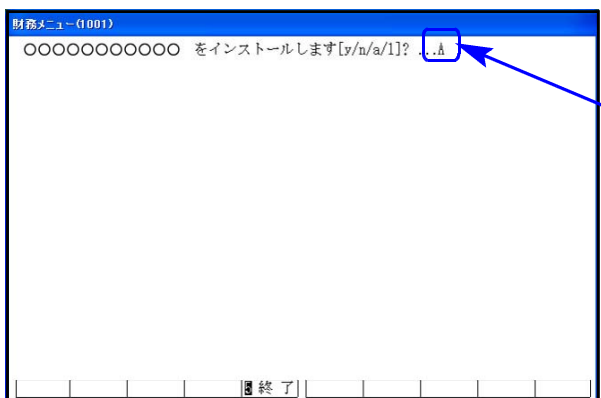
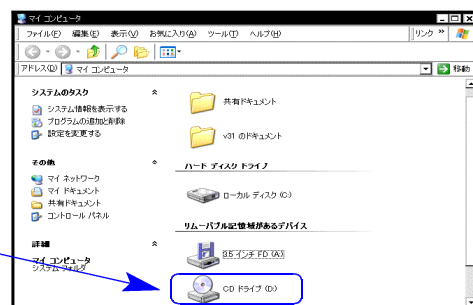
Dドライブの場合『d』と入力します。  
『d:¥』と表示されたら、Enterを押します

※お客様の機械によってドライブ名は異なります。  
下記の方法で確認して下さい。

### CD-ROMのドライブ名の確認方法

マイコンピュータを開きます。  
CD-ROMのドライブを確認して下さい。

左図の場合はCD-ROMドライブは『D』です。



- ⑤ インストールを実行します。  
左図の1行目の画面を表示します。  
『000をインストールします[y/n/a/1?...]』  
[a] 又は [1] を選択します。

※誤って、[y] を選択した場合は2行目  
以降で [a] 又は [1] を選択して下さい。

- ⑥ 2行目以降を表示します。  
終了が出た後しばらくお待ち下さい。

- ⑦ インストールが終了すると左図の画面を表示します。  
CD-Rを本体から取り出してください  
他の端末が起動していないことを確認します。

※ここに複数表示する場合は他の端末が動作中  
です。一旦終了して下さい。  
1台のみの場合は現在作業している機械です。

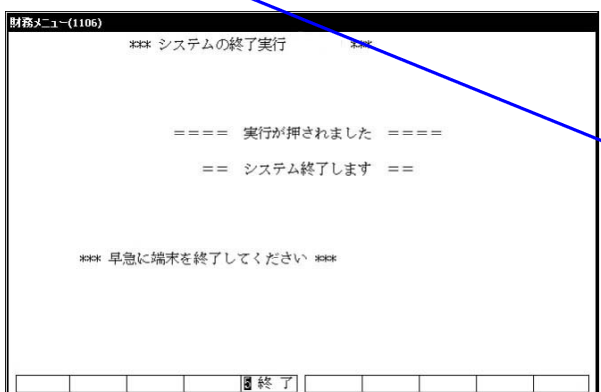


### 単体の場合

終了(F 5)を何回か押してシステムを終了し  
Windows画面、もしくはポータル画面まで戻り  
ます。戻った後、3分ほど待ち、再度システムを  
起動して下さい。

### ネットワークの場合

実行(F 3)を押し、しばらくお待ち下さい。  
左図の画面を表示した後、しばらくすると  
自動的にマルチ端末が終了、その後親機  
の電源も自動的に切れて再起動します。  
(※親機の電源が切れたあと5分ほど待っても  
再起動しない場合は、電源ボタンを押して  
起動させて下さい。)



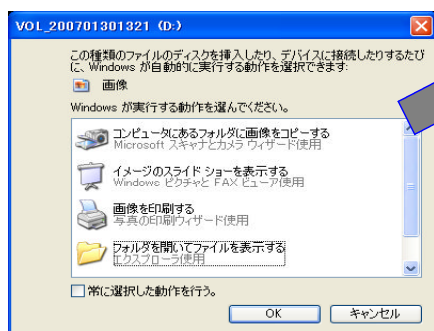
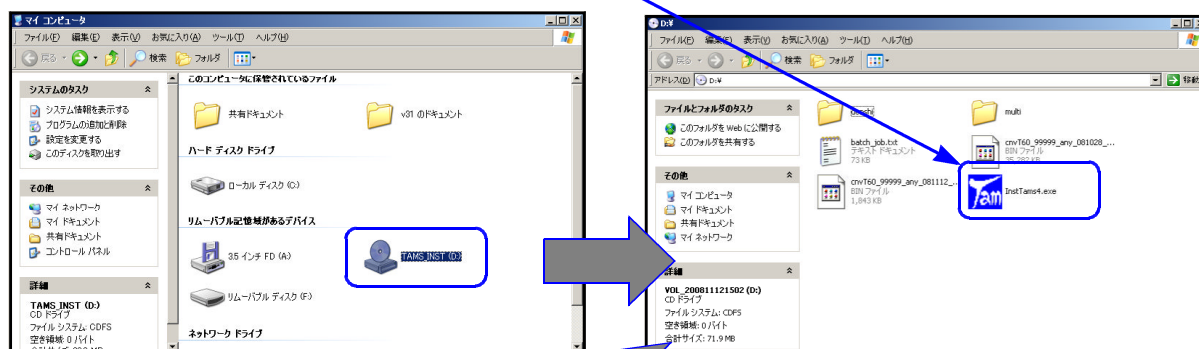
※親機を複数台持っている場合は、本CD-Rにて更新作業を同様に行ってください。

## 転送前の確認事項

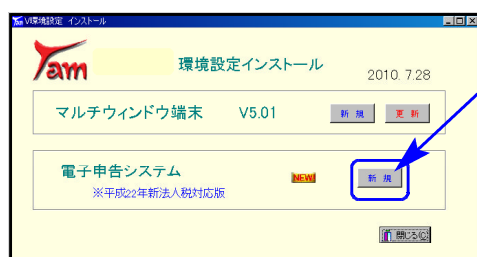
- インストールを行う際は、全てのプログラムを終了して下さい。（マルチウィンドウ端末も閉じて下さい。）終了せずインストールを行うとプログラムが正常に動作しません。

インストールは下記に沿って各端末機で行って下さい。

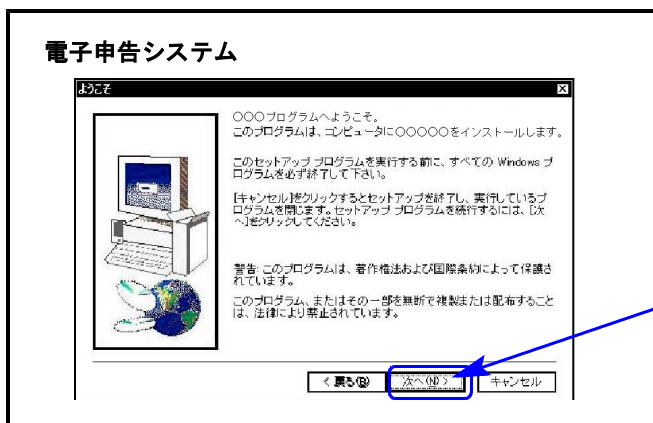
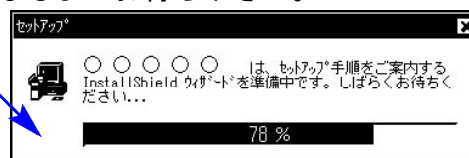
1. 今回送付した「平成22年電子申告プログラム等更新～10.7.28」と書いてあるCD-Rを用意し端末機にセットします。
2. マイコンピュータをダブルクリック→CD-ROMドライブをダブルクリックします。CD-Rの内容を表示しますので『InstTams4.exe』をダブルクリックします。



※CD-Rをセット後、左図を表示した場合は『フォルダを開いてファイルを表示する』を選択します。  
OKにマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押すと右上の画面を表示します。

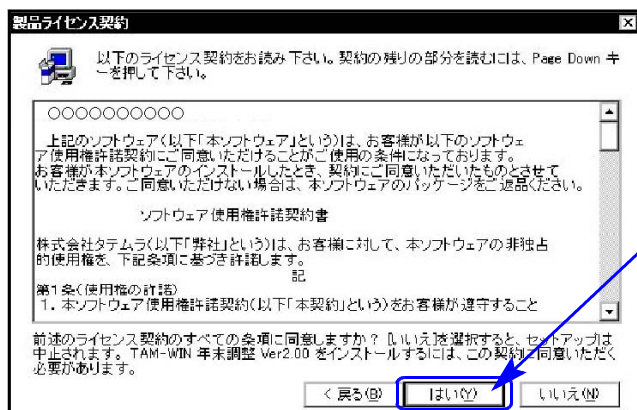


3. 電子申告システムの『新規』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。
4. しばらくすると下図の画面を表示します。「100%」になるまでお待ち下さい。



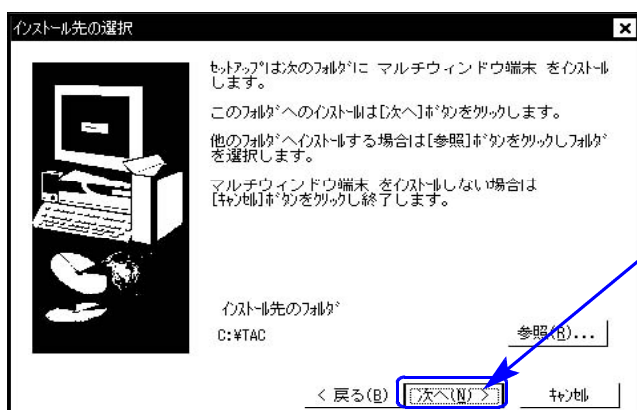
5. 左図の画面を表示します。

マウスの矢印を「次へ」に合わせて左ボタンを1回押します。（クリック）



6. 左図の画面を表示します。

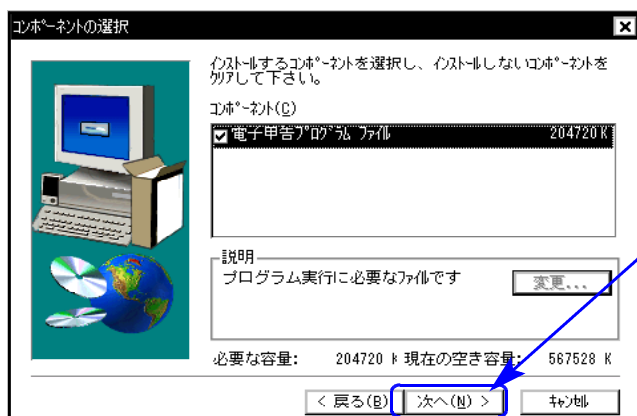
マウスの矢印を「はい」に合わせて  
左ボタンを1回押します。(クリック)



7. 左図の画面を表示します。

マウスの矢印を「次へ」に合わせて  
左ボタンを1回押します。(クリック)

しばらくお待ち下さい



8. 左図の画面を表示します。

マウスの矢印を「次へ」に合わせて  
左ボタンを1回押します。(クリック)

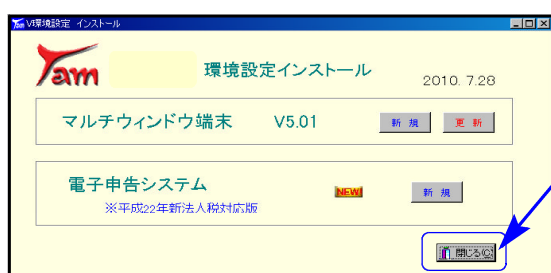
インストール中の画面を表示します。  
そのまましばらくお待ち下さい



9. 「セットアップ完了」と表示したら  
マウスの矢印を「完了」に合わせて  
左ボタンを1回押します。(クリック)

10. 左下図の画面に戻ります。

マウスの矢印を「閉じる」に合わせて  
左ボタンを1回押します。



11. CD-Rを取り出し、Windowsを再起動  
して下さい。

以上でインストール作業は終了です。

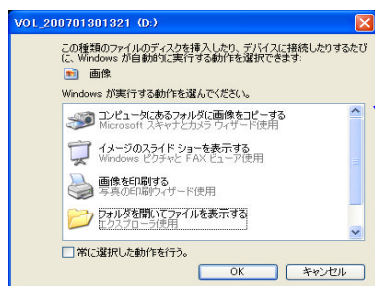
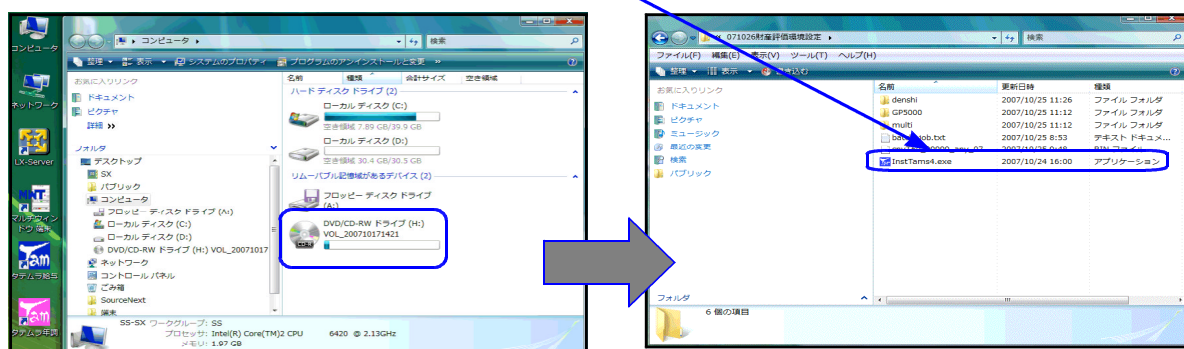


## 転送前の確認事項

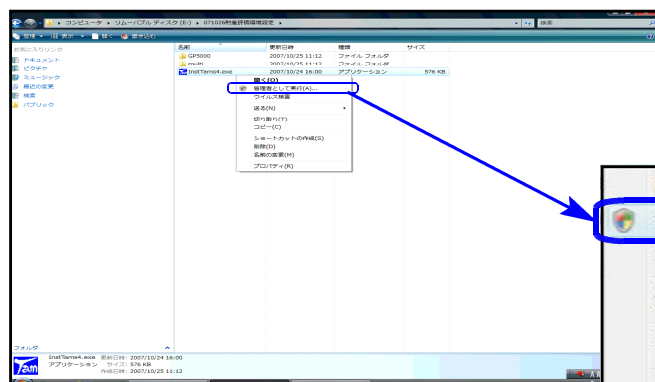
- インストールを行う際は、全てのプログラムを終了して下さい。（マルチウィンドウ端末も閉じて下さい。）終了せずインストールを行うとプログラムが正常に動作しません。

インストールは下記に沿って各端末機で行って下さい。

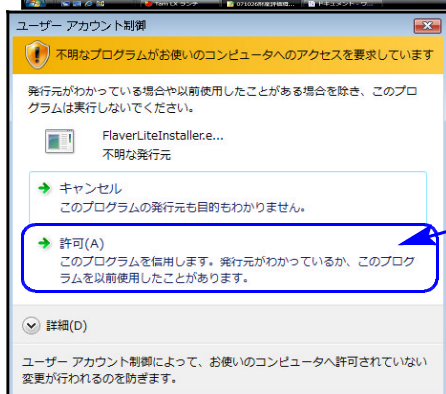
1. 今回送付した「平成22年電子申告プログラム等更新～10.7.28」と書いてあるCD-Rを用意し端末機にセットします。
2. マイコンピュータをダブルクリック→CD-ROMドライブをダブルクリックします。CD-Rの内容を表示しますので、『InstTams4.exe』を右クリックします。



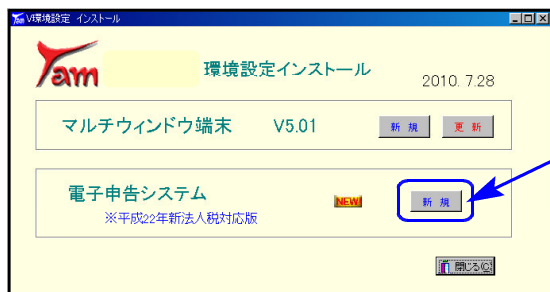
※CD-Rをセット後、左図を表示した場合は『フォルダを開いてファイルを表示する』を選択します。  
OK にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押すと右上の画面を表示します。



3. 左図の画面より『管理者として実行』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。（クリック）



4. 左図の画面を表示しますので、「許可」にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。（クリック）

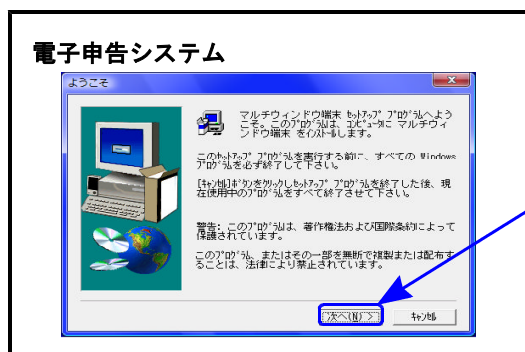


5. 左図の画面を表示します。  
電子申告システムの『新規』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。

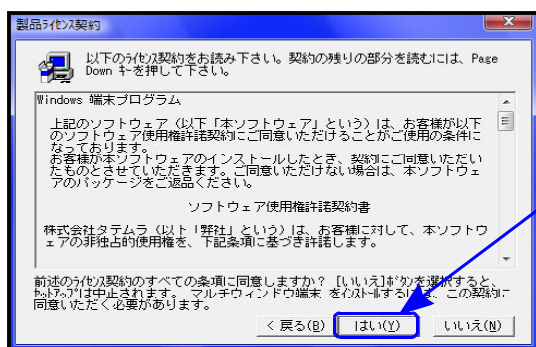
次の画面が出るまでしばらくお待ち下さい。



6. 左図の画面を表示します。  
「100%」になるまでお待ち下さい。



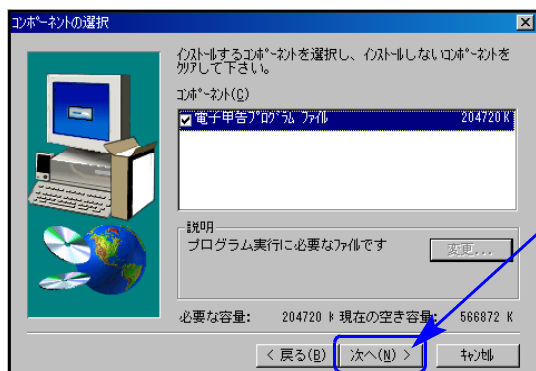
7. 左図の画面を表示します。  
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)



8. 左図の画面を表示します。  
マウスの矢印を「はい」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)



9. 左図の画面を表示します。  
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)  
しばらくお待ち下さい。



10. 左図の画面を表示します。  
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)  
しばらくお待ち下さい。





11. 「セットアップ完了」と表示したらマウスの矢印を「完了」に合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)

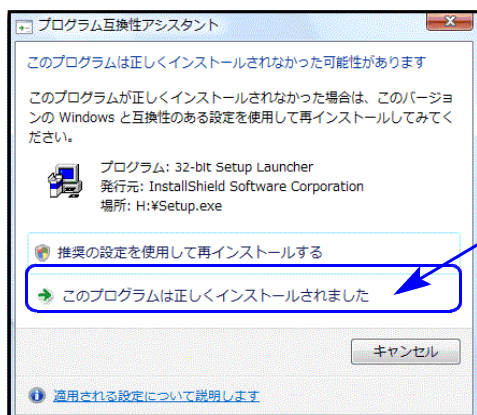


12. 左図の画面に戻ります。

マウスの矢印を **閉じる** に合わせて左ボタンを1回押します。

13. CD-Rを取り出し、Windowsを再起動して下さい。

以上でインストール作業は終了です。



- ※インストール終了後に左図の画面を表示した場合は「このプログラムは正しくインストールされました」にマウスの矢印を合わせ、左ボタンを1回押します。(クリック)

## ● [110] 平成22年法人税申告書に対応しました ●

[110] 新法人税申告書システムで作成した国税データの電子申告変換  
↓  
51:【新法人税送信データ変換】にて行います。

※新法人税変換は平成22年以降のみ

【100】 従来版法人税申告書プログラムで作成したデータの変換は、501で行います。

電子申告システム(dev/pts/38)

拡大表示 縮小表示

[V-4.00 72710-2. ページ

会社コード... 年度... 社名...

項目選択... プリンター... SS NPP802

平成22年度 法人用送信データ作成

【基本情報登録】

11:【G P 申告情報登録】

【添付書類】

21:【税務代理権限証書】

22:【第33条2第1項】

23:【 " 2 頁目】

24:【 " 3 頁目】

25:【 " 4 頁目】

26:【第33条2第2項】

27:【 " 2 頁目】

28:【 " 3 頁目】

29:【 " 4 頁目】

【法人決算書】

31:【決算書 財務連動】

32:【株主資本変動計算】

33:【個別注記表Ⅰ】

34:【個別注記表Ⅱ】

35:【個別注記表Ⅲ】

【送付書】

36:【国税法人税・送付書】

【変換】

51:【新法人税送信データ変換】

501:【法人税送信データ変換】

52:【消費税送信データ変換】

503:【地方税送信データ変換】

【外字登録】

100:【外字変換登録】

1:ブ切替 2:2-3 5:終了 8:ユーア

## 新法人税送信データ変換 ―従来版から変更になった点―

- ① 「申告の種類」を[110]新法人税申告書システムの10:基本情報登録から読み込むようにしました。

ユーザコード: 142 ユーザ名: 株式会社 東京商事

印刷項目をクリックすると印刷する項目を選択できます → 印刷項目設定

※基本情報はG P 申告情報登録より必要な項目を表示しています。  
訂正は、F 8 キーを押してG P 申告情報登録で行います。

【法人税基本情報】			
提出年月日	平成 22 年 8 月 25 日	決算の確定日	平成 22 年 8 月 5 日
事業年度	自平成 21 年 7 月 1 日 ~ 至平成 22 年 8 月 30 日		
中間申告期間	自平成 年 月 日 ~ 至平成 年 月 日		
申告の種類	<input checked="" type="radio"/> 確定 <input type="radio"/> 中間 <input type="radio"/> 修正確定 <input type="radio"/> 修正中間		
←上記申告種類を選択後、種類名を変更したい場合はここ			
青色・白色区分	<input checked="" type="radio"/> 青色 <input type="radio"/> 白色	税務署名	

51:【新法人税送信データ変換】 0142 (dev/pts/54)

拡大表示 縮小表示

申告の種類

☒ 確定  
☐ 中 間  
☐ 修正確定  
☐ 修正中間  
☐ 予定申告

実行

申告の種類を選択し、実行をクリックして下さい。

- ② [110]新法人税申告書システム 12:法人税・地方税申告書の入力帳表選択画面の使用区分と 51:新法人税データ変換のチェックフラグが連動しています。

使用区分が[1]使用するになっている表のうち、データ入力のある別表について変換のチェックを自動表示します。

※[2]使用しないになっている表は、データがある場合でも変換チェックが付きません。

■12【法人税・地方税申告書】0142 (dev/pts/34)

拡大表示 縮小表示

ユーザコード: 142 ユーザ名: 株式会社 東京商事

※選択No.に表番号を入力して頂くか、緑色の別表名にマウスを合わせてクリックで各表を表示します。(スペースで呼び出しも可能です。) 選択区分には下記に該当する番号を入力して下さい。  
[1]使用する [2]使用しない

区分	表番号及び別表名	区分	表番号及び別表名
1	[ 81] 別表 8-1	1	[ 61] 別表 6-1
2	[110] 別表 11-1	1	[ 71] 別表 7-1
2	[111] 別表 11-1の2	1	[ 20] 別表 2
2	[112] 別表 11-2	1	[ 31] 別表 3-1
2	[113] 別表 11-3	1	[ 11] 別表 1-1
2	[132] 別表 13-2	2	[ 12] 別表 1-2
2	[135] 別表 13-5	1	[ 52] 別表 5-2
1	[150] 別表 15	1	[ 51] 別表 5-1
1	[161] 別表 16-1	2	[511] 別表 5-1付表
1	[162] 別表 16-2		
2	[166] 別表 16-6		
2	[167] 別表 16-7		
2	[168] 別表 16-8		
2	[170] 別表 16-10		
1	[ 40] 別表 4		
2	[142] 別表 14-2		

■s422【法人税送信用データ変換】0142 (dev/pts/52)

拡大表示 縮小表示

法人税申告関連のデータを電子申告用のファイルに変換します。  
変換対象の表にチェックが付いています。変換不要な表はチェックをはずしてください。

F3:変換 を押すと変換を実行します。

☐ 還付先金融機関の変換をしない

法人税申告書 (別表1-1か別表1-2のどちらかは必須です。)

<input checked="" type="checkbox"/> 別表 1-1	<input type="checkbox"/> 別表 5-1付	<input type="checkbox"/> 別表 13-5
<input type="checkbox"/> 別表 1-2	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 5-2	<input type="checkbox"/> 別表 14-2
<input checked="" type="checkbox"/> 別表 2	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 6-1	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 15
<input checked="" type="checkbox"/> 別表 3-1	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 7-1	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 16-1
<input type="checkbox"/> 別表 3-3	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 8-1	<input checked="" type="checkbox"/> 別表 16-2
<input type="checkbox"/> 別表 3-4	<input type="checkbox"/> 別表 11-1	<input type="checkbox"/> 別表 16-6
<input type="checkbox"/> 別表 3-4付	<input type="checkbox"/> 別表 11-(1の2)	<input type="checkbox"/> 別表 16-7
<input type="checkbox"/> 別表 4(一般)	<input type="checkbox"/> 別表 11-2	<input type="checkbox"/> 別表 16-8
<input checked="" type="checkbox"/> 別表 4(簡易)	<input type="checkbox"/> 別表 11-3	<input type="checkbox"/> 別表 16-10
<input checked="" type="checkbox"/> 別表 5-1	<input type="checkbox"/> 別表 13-2	

エラー情報

## プレビューの変更点

プレビュー画面での操作は、マウスのみとなりました。

電子申告送信用データプレビュー画面

プレビュー エラーメッセージ

① 旧定率法又は定率法による減価償却資産の償却額の計算に関する明細書

税引年度 平成 21・7・1 法人名 株式会社 東京商事  
前年度 平成 22・6・30

種別	種別	種別	種別及び数量	工具
1	建物	建物	建物	建物
2	不産物	不産物	不産物	不産物
3	事業所	事業所	工事その他	工事その他
4	取得年月日	取得年月日	取得年月日	取得年月日
5	事業の用に供した年月日	事業の用に供した年月日	事業の用に供した年月日	事業の用に供した年月日
6	耐用年数	耐用年数	耐用年数	耐用年数
7	取得価額又は製作価額	取得価額又は製作価額	取得価額又は製作価額	取得価額又は製作価額
8	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
9	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
10	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
11	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
12	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
13	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
14	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
15	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
16	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
17	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
18	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
19	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
20	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
21	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
22	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
23	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
24	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
25	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額
26	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額	償却資産による減価償却額

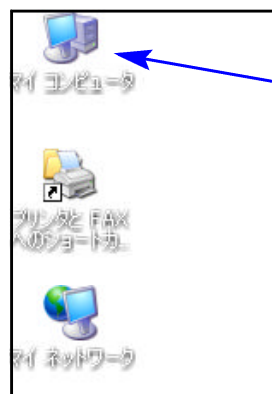
プレビュー表示中 ☒ 常に最大化で表示する

別表十六(二):ページ-1

前頁 次頁 印刷 終了

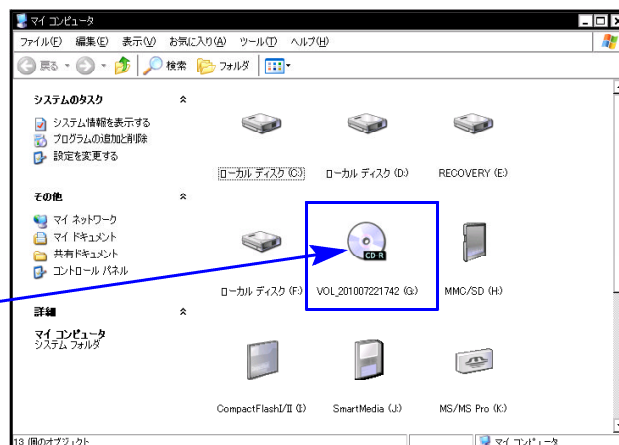
マウスでクリックして、指定して下さい。

各取扱説明書はPDFとして保存してあります。  
常に、最新の転送CD-Rに全プログラムの説明書(※年末調整・給与・法定調書は除く)を保存致しております。



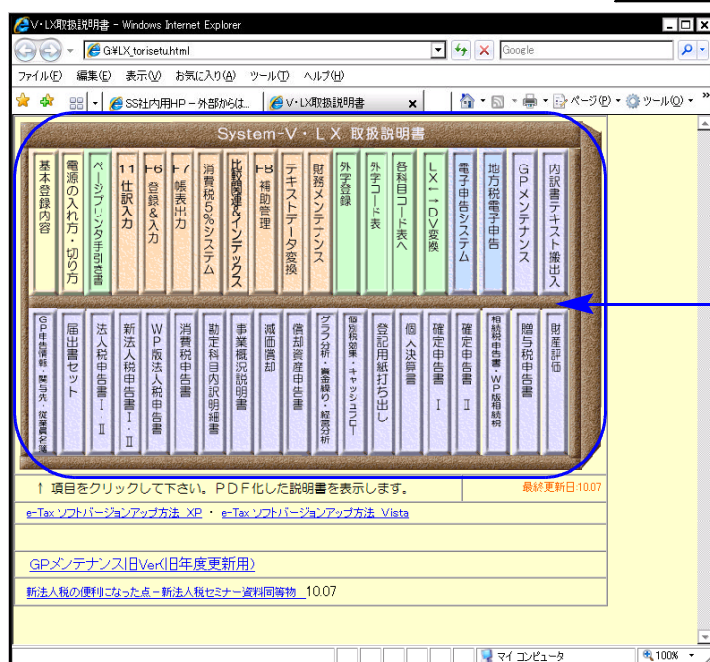
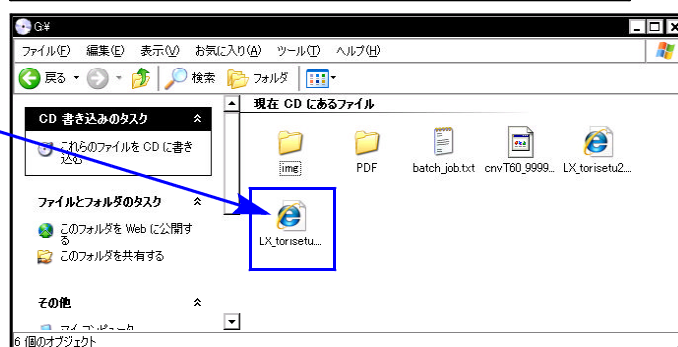
1. 転送用のCD-Rをセットします。

2. マイコンピュータをダブルクリックします。



3. CD-Rのドライブをダブルクリックします。  
(CD-Rドライブの呼出し場所は機種によって違います。)

4. LX\_torisetuをダブルクリックします。



左図の本棚のような画像を表示します。

ご希望のプログラム名をクリックすると  
該当の取扱説明書を表示します。

尚、以下の弊社システムサービス課ホームページからも最新の取扱説明書(PDF)を呼び出すことができます(※年末調整・給与・法定調書もあります)。是非ご利用下さい。

[http://www.ss.tatemura.com/06\\_torisetu/LX\\_torisetu.html](http://www.ss.tatemura.com/06_torisetu/LX_torisetu.html)

平成22年7月28日

株式会社タテムラ  
システムサービス課

地方税電子申告ご利用者様

## 地方税ポータルシステム（eLTAX）更改に伴うサービスの一時停止について

平素は、弊社地方税電子申告システムをご利用いただき誠にありがとうございます。

社団法人 地方税電子化協議会よりの通達をお知らせいたします。

現在、地方税ポータルシステム（以下eLTAX）は運用開始後5年が経過し、ハードウェア機器の耐用年数の問題や、電子申告等のサービス利用件数の増加に対応するため、機器等の全面入れ替え作業を平成22年11月まで実施しています。

この作業に伴い、下記のとおり eLTAXポータルシステムのサービスが一時停止することとなりましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1：サービス停止期間

平成22年11月18日（木）～11月25日（木）

#### 2：サービス再開日時

平成22年11月26日（金）午前8時30分から

#### 3：停止するサービス

eLTAX ポータルシステムに関するすべてのサービスが停止します。  
…「地方税電子申告」「電子納税」「電子申請・届出」

#### 4：11月26日以降のeLTAXご利用可能環境

- OS…Windows XP(SP3)、Windows Vista(SP2)、Windows 7
- インターネットブラウザ…Internet Explorer 7、Internet Explorer 8  
(上記以外の環境では動作保証がなされていません。)

サービス停止期間中は、eLTAX ポータルシステムのすべてのサービスがご利用いただけません。  
ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※なお、国税電子申告システム（e-Tax）は通常通りお使いいただけます。※

以上